

地域産業の展開に向けた 都市自治体の施策に関する研究会 の全体方針について (事務局案)

2021年5月28日(金)

I 設置趣旨について

1. 本研究会の設置趣旨

● 問題意識

- ① 産業は、地域経済の循環において重要な役割を担っているだけでなく、地域の文化、シビックプライドを支えるといった側面を有しており、これら地域産業の高い技術力を次の世代へ継承・発展させ、活性化を図る必要がある。
 - ② 地域産業は、人口減少時代を迎え、グローバル化に伴う価格競争や消費者ニーズの変化、後継者の確保や技術承継など、様々な課題を抱えている。
 - ③ 都市自治体の現場では、事業者の主体的な取り組みを支援すべく、幅広い施策を行っているが、限られた人員・予算の中で、庁内外との連携、財源の確保等、様々な課題を抱えている。
- 地域に根ざす産業に焦点を絞り、今後の地域産業の展開と都市自治体の先進事例の調査等をふまえて、都市自治体を取り組むべき施策とその進め方を探る。

2. 「地域に根ざす産業」について

- 地域に根ざす産業：地域の自然的（地理・気候）・歴史的条件を生かしたものづくりを中心とする産業

（例）福井県鯖江市の眼鏡、
東京都大田区の機械・金属加工、
富山県高岡市の銅器、漆器、
新潟県燕市、三条市の金属製品 等

（参考）地場産業

いわゆる「地場性」を有する産業のことをさすが、より具体的には、地元資本による中小企業群がその地方の経営資源（原材料、技術、人材、販売力等）を活用して、生産、販売活動を行っている産業

（昭和56年版中小企業白書 第3節 地域経済と地場産業
1 地場産業振興気運の高まり(1)地域経済社会における地場産業の重要性)

（参考）地域資源

「その地域ならではのリソース（産業資源）」である、特産品や観光名所

（2007年6月施行、2020年10月廃止「地域資源法（中小企業産業資源活用促進法）」）

- ①地域水産物や鉱工業品（野菜、果物、魚、木材等）の特産物として相当程度認識されている農林
- ②地域の特産物である鉱工業品の生産に係る技術（鋳物、繊維、漆器、陶磁器等）
- ③文化財、自然の風景地、温泉その他の地域の観光資源として相当程度認識されているもの（文化財、自然景観、温泉等）



出典：経済産業省 ミラサポplus 中小企業向け補助金・総合支援サイト
<https://mirasapo-plus.go.jp/hint/1938/>

i 設置趣旨について

3. 論点(案)

- 論点1 地域産業を取り巻く現状と今後の展開
 1. 地域産業の現状及び課題
 2. これからの地域産業の展開

- 論点2 都市自治体が地域産業振興に取り組む意義と課題
 1. 都市自治体が地域産業振興に取り組む意義
 2. 都市自治体が地域産業振興施策を行う上で抱える課題

3. 論点(案)

● 論点3 都市自治体が取り組むべき施策とその進め方

1. 地域産業振興施策に関する具体的な施策

2. 施策立案・実施におけるポイント

- 事業者のニーズ把握及び事業者、市民、関係機関との目標共有
- 施策内容の検討における論点とあり方

3. 地域産業振興施策の推進体制のあり方

- 市職員の人材育成
- 庁内の体制
- 外部とのネットワークによる推進

〔参考〕 関連する過去の調査研究

- 都市自治体行政の専門性に関する調査研究(産業人材育成と起業支援)
(2015年度)
- 都市自治体に取り組む産業人材育成と起業支援政策について、政策上の位置づけ、既存資源との関連、外部との連携などについて検討を行った。
(ヒアリング先)北海道 函館市、帯広市、富山県 高岡市、福井県 鯖江市、岐阜県 飛騨市、大阪府 東大阪市、広島県 府中市
- 合併市町村における地域ブランド戦略に関する調査研究 (2006年度)
- 合併自治体の地域ブランドづくりに際して参考となるポイント(着眼点や留意点)
(ヒアリング先)長崎県佐世保市、山梨県南アルプス市、甲州市勝沼、京都府京丹後市、兵庫県篠山市、岐阜県多治見市、北海道函館市

Ⅱ 調査研究の進め方について

1. 調査手法・成果物(案)

【調査手法】

① 研究会での意見交換

- 研究会委員からの話題提供
- ゲストスピーカーの招聘

② 先進自治体・関係機関等へのヒアリング調査

【成果物】

本調査研究の成果をまとめ、2022年3月に報告書を刊行する予定である。

2. スケジュール(案)

日程	事項	内容
5月28日(金) 18~20時	第1回研究会	顔合わせ、研究会の進め方・論点・調査研究手法、ヒアリング調査先・ゲストスピーカーの検討
7月16日(金) 10~12時	第2回研究会	座長・委員からの話題提供
9月	第3回研究会	ゲストスピーカーからの話題提供、ヒアリング調査報告
10月	第4回研究会	報告書の全体構成・執筆分担の検討、ヒアリング調査報告
12月	最終研究会	報告書原稿読み合わせ
2022年 1月	原稿〆切	
3月	報告書刊行	

ヒアリング調査
7
~
10
月